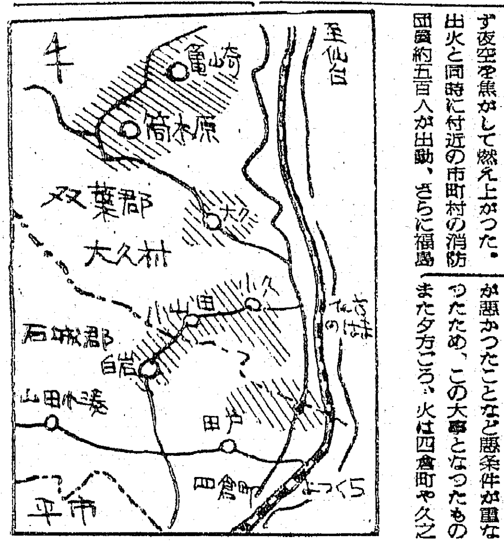
夕刊 常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電話（代表）2104・2105番

強風警報中の惨事

紅蓮に包まれた三町一村

瞬時に52戸を焼く

飛び火、手の施しようなく



二十五日午前十一時五十分ごろ四倉町白岩字金波三〇農業緒方一郎さん（五三）方所有の山林内炭焼きがまから火を出し、折りからの強風にあおられ火は見るみる間に燃え広がつた。火は同町白岩地内の山林を総なめしてから同町栗木作地内の山林と隣接の双葉郡大久村小久地内の山林さらに同郡久之浜町田之網地内に燃え移り、一方同時刻ころ大久村箇木原地内の山林からも出火、広野町と久ノ浜町大字末続地区に飛び火し二カ所から出火した火は荒れくるう強風にあおられ山は火の海と化した。午後六時ころから幾分風力はおとろえたが二十六日未明まで燃え続けた。火は山あいの部落にも襲いかかり南北十キロ、東西七キロの石城、双葉両郡の三町一カ村に燃えひろがつた。

県警察本部が二十六日朝、確認したところでは住家五十二戸、非住家七棟、納屋、家畜舎など百二十七棟山林五百ヘクタールを焼き、夜にはいつても火勢は一向に衰えず夜空を焦がして燃え上がつた。出火と同時に付近の市町村の消防団員約五百人が出動、さらに福島郡山の自衛隊約二百人が現地に急行して消火に当たつたものの、強風注意報発令下で、瞬間時最大風速十九メートルの強風が吹いたこと、乾き切つていたこと、水の便が悪かつたことなど悪条件が重なつたため、この大事となつたものまた夕方ごろ、火は四倉町や久之浜町の密集家屋にまで近づき熱風と黒煙が六号国道沿いに漂い、街は戦争時の空襲を思わせるようなさわぎと恐怖におそわれ一夜を明した。この火事で常磐線を横断するようになつたため下り特急〝はつかり〟は四倉駅に約五十分停車したのをはじめ各列車とも遅れ、六号国道も交通が一時とだえるほどだつた。くるつたこの業火に県は自衛隊に出動を要請したほか、県警察本部も菅野警備部長と機動隊を現地に急行させまた浜通り七署の全署員を非常招集、久之浜と四倉町に本部を設け警備に当つた。

新設
内科
小児科
叶多産婦人科
院長 叶多信之
平市二丁目 電二三五五
松本勝衛

天気予報

「今晩」 北西の風くもり
「あす」 北西の風やや強く、晴時々曇り
「海上」 今晩あすとも風波ある

閻魔帖

ワラ屋根解消急げ

山火事が教えたもの

三町一村を火の海と化した山火事がおしえたものにはいろいろあつた。大久村の大字小久地区は小久川をはさんで東から西に百五十戸の農家がある。そのうち五十二戸と非住家あわせて百二十六棟を一となめにしてしまつた。軽傷者を二人出しただけで人畜に被害のなかつたことは不幸中の幸であつた。広範な山林のことでいま正確な数字はつかめないが、おそらく何億円に達する損害を蒙つたことになるだろう。

▼▼これが一、二の炭焼きカマから因を発しているとあつては製炭業者の現在のありかたをそのままに野放しにしておくことはできない問題である。市街地でないため、山奥のスミカマはまことに原始的で、火災予防の規制がない。製炭業者の自主的な注意力にまかされているためいままでもずいぶん失火件数をあげている。まだ大火にはならなくともボヤていどのものはしばしばある。それなのに取締りの手は打たれていない現在である。

▼▼こんどの大火も強風警報が発令中だつたのに、製炭者が火気の取扱いに無関心でカマを離れたとあつては呆れて物がいえなくなる。斜陽産業として石油やガス燃料に追いまくられて木炭やきであつても、他人に迷惑をかけ国家の資源を灰にしてしまうようではこまる。カマ場の周辺何平方メートルには剥土して燃焼防壁をつくるとか、常識的にみて、強風や異状乾燥時には火付けを中止することにしなくてはなるまい。それと監視を厳重にすることも忘れてはならない。

▼▼そのために製産低下の損失は当然だが民家を焼いたり、莫大な資源を灰にすることをおもえば止むを得ない措置である。それに山火事はともすれば市街地の火災とちがつて軽視される傾向にある。これはとんでもないことである。山火事も火災に変りはない。こんどのような損害と人騒せをしでかすのである。どんなに風がなくとも可燃性の木の葉や枯れ木が堆積されている。山への出入りする者は火気の取扱いには市街地以上の注意力を傾けなければならない。ひとりスミ焼業者によらず、猟友会なども、この点会員に一層の関心を高めていただきたいことである。

▼▼それと四十一戸の焼けた家屋のうち瓦ぶき住家は二戸が焼けている。その他ほとんどが藁ぶきであつたし、瓦ぶきの二戸も隣接藁ぶき非住家が焼け燃え移つて焼いている。非住家屋百二十七棟のほとんどもワラブキだつたことは、こんどの住宅建築を耐火構造に全面的な改良の必要が痛感させられている。このワラ屋根解消のためには、現行の利子補給ていどの枯息な対策では住民が安心してはいられない。この機会に積極的に耐火構造へ方法も講じるべきではあるまいか。

腰ぬけた老婆を救い出す

瞬時に焼けるわが家を見て

現場は四倉町の繁華街から西に約一千メートル離れた高台で、標高二百メートルの俗称〝中野山〟といわれる同町栗木作地内まで火は猛威をふるつて燃え広がり、危険におかされた同字農業宮沢行雄さん（四三）方には避難するため、かけつけた消防団員や漁夫、町民らが家財道具の運び出しに懸命であつた。火はすぐ裏山まで燃えつたわり、煙にまかれながら必死の荷物運びと住家の廻りに水をかける人達で躍気だつた。この栗木作には六、七軒の住家が散らばつてあるが、ほとんどの家ではかけつけた消防団員や知人の手によつて、家財道具は同地内にある浄水場の広場に運び込まれた。また山の中の一軒家である同町栗木作八一、郵便局員高崎光信さん（三八）方では家族七人がいるが、この日は祖母のカツさん（七〇）だけが留守居をしており、あとは白岩方面の山火事に出て誰もいなかつたため、白岩からの火が燃え迫って来たのにカツさん一人で、どうする事もできず、腰をぬかしているところを消防団員に助けだされ、家財道具は何一つ出すこともできずに、木造平屋一棟と物置一棟計九十九平方メートルを全焼した。高崎カツさんの話『家には誰もいないので留守番をしていたが、裏山の方で〝パチパチ〟とする音と同時に黒煙に包まれ〝火事だ〟と思つた時には腰がぬけ、動く事も出来ずにいましたが、消防団員の人達に助けられました。恐ろしい山火事でした』と泣きながら語つていた。

三百十二人が焼出さる

けさ判明した罹災世帯主氏名とその家族数はつぎのとおり。

◆双葉郡大久村▽小久字菖蒲作五四電気工谷平勝衛（三八）五人、農蒐谷甚太郎（五五）五人、無職新妻茂男（五二）九人、字空代内五九無職飯島広治（五七）二人、字堤田九八谷平喜重（六三）七人、佐久間行蔵（年令不明）二人、農谷平寅郎（五五）七人、農谷平露彰（四四）八人、字下蔵内八三農谷平彦三郎（六二）六人、農強口正男（五〇）八人、農谷平唯助（六八）六人、飯島ツギ（年令不明）六人、字柳沢二二谷平初男（五七）十一人、農谷平準平（七三）三人、飯島智勇（不明）十二人、飯島睿帆（五七）七人、字田中一五農強口安一（五三）五人、日高大重（不明）五人、農猪狩省吾（六三）九人、坂本国雄（四三）四人、農猪狩市之助（七九）八人、農吉田勇（六二）八人、農猪狩チヨノ（五〇）四人、大坂千代子（不明）四人、西山露平（不明）七人、農猪狩蕊員（五三）九人、猪狩定一（不明）六人、猪狩テルヨ（四三）二人、農坂本守寄（四七）七人、大工吉田七郎（五七）三人、字大谷八〇農猪狩利助（七二）八人、日〇農鈴木モト（五六）二人、農鈴木正雄（三四）三人。

◆双葉郡久之浜町▽田之網字柿内農新妻正雄（三七）農薄井タケ子（三二）六人、農柴田勝義（五二）六人、字仲野四三羽賀久助（不明）一人、遠藤豊吉（同）八人、字菖蒲作五六農谷平忠衛（不明）二人、字洞一の七新妻毅（同）六人、字大場一二五白井定美（同）五人、字滝ノ沢六〇強口満美（六三）四人、字田中七五猪狩喜通（同）八人、農強口蕊一（六六）七人。

◆四倉町▽栗木作郵便局員高崎光信（三八）七人、大工佐々木八七郎（年令不明）六人。

◆双葉郡広野町▽折木字上原農渡辺満義（五七）農渡辺亀太郎（七三）＝未確認。

自衛隊救援に出動

要請で郡山、福島から

自衛隊福島駐とん部隊は、県の要請により大火救援のため午後六時高橋三佐以下六十三人がジープ二台、ダンプカー四台で現地に向かつた。

また郡山駐とん部隊からは、午後五時四十分渡辺二佐以下約百五十人の隊員がスコップその他の消か用具などを持ち、トラック、ジープに分乗して現地に到着、燃え狂う大久村小久で消かに当つたが、猛かで手のつけようもなかつた。

大久村に災害救助法

さく夜発動

山か事から四十余戸の罹災者を出した大久村に対し災害救助法が適用され、家屋建築資金の融資、営業資金の貸付け、救助金一戸当り一万四千円、焼失した学校教科書の無料給与、毛布、炊事用具などがくばることになつた。

川前村では木材を焼く

損害一千余万円

平林友協同組合（佐藤福太郎組合長）川前村荷付場国有林十ヘクタールの焼失から立木六百立方米と伐採木四百立方米運材機一台（百五十万円）計一千二百五十万円をやいた。

恐怖の一夜明けた町

高潮被害十七年間 水ぜめ火ぜめ嘆く

一瞬にして四町村を襲つた山火事の現地をみる。二十五日午後二時久ノ浜駅に下車すると、西手の山は煙に蔽われて、強い風にのつた煙ははさまる市街地の上空を太平洋の彼方に矢のようにはやく流れている。風しものの久ノ浜町と大久村はみるみるうちに恐怖の胸さわぎが起つてくる。水不便と高台で山や原野に包まれている中学校では五校時で全生徒を帰宅させた。やがて小学校も、そのうちに児童の家が焼けているという知せが入る。大久、久の浜やく場には消防団員、新聞記者が詰めかける。南町駐在所には富岡署の警備本部が急設され、被害状況は逐一はいつてくるが、広域な山のことで全体的なものをつかむのに困難をきたしている。煙りと降灰で署員は目を痛めている。

事態の容易でないことを知つた水野谷村長はいちはやく県に自衛隊の出動を要請したのは機を得た策だつた。火の粉がスズメの飛び舞うように降りる。小久の農家にひがついたという情報に隣接する久の浜町の危険が迫つた。同時に四倉町もアブナイというのだ。後援に出動した四倉消防団は転じて車を返した。席は勿来北は原ノ町市から十数台のポンプが急援されたが、重なつた悪条件に機動力と消か能力を充分に発揮できなかつた。

不安は避客とともに迫つた。町民は一斉に避難準備に入つた。寝具を米を、仏壇や神体を包むさわぎである。他町村の親戚からは見舞に駆けつけたため町道は車で列をなし交通マヒをおこしている。町と大久村の中間の高台には両町村組合立の小、中学校と伝染病隔離病舎の建物があり、この何れかにひがつけば街は一となめになる危険があつた。

昭和三十二年高潮の被害をうけてから十七年目、水に痛めつけられたこんどはか事、ほんとひ攻め水攻めの災難だと町民は嘆息していた。午後六時繁華街は雨戸をおろして店を閉めた。何キロにもわ[illegible]状の紅蓮は空をこがしてい[illegible]た。こんどはと飛び火で焼け[illegible]の罹災が知らせてくる。中[illegible]軒下まで延焼してくる。学[illegible]もれと消防団は心死の防か[illegible]つた。と同時だつた。その[illegible]越したひの粉は久ノ浜駅前[illegible]百米の近かまにある小公園[illegible]か炎の舌がめらめらと見る[illegible]ちに広がつた。いよいよ危[illegible]状態に入つたが、だが勢はお[illegible]てはいなかつた。旅館や町[illegible]が静まつた、そのころ[illegible]船主など大口炊事場のある[illegible]ではたき出しに婦人会が活[illegible]じめた。かくて恐怖の一夜[illegible]

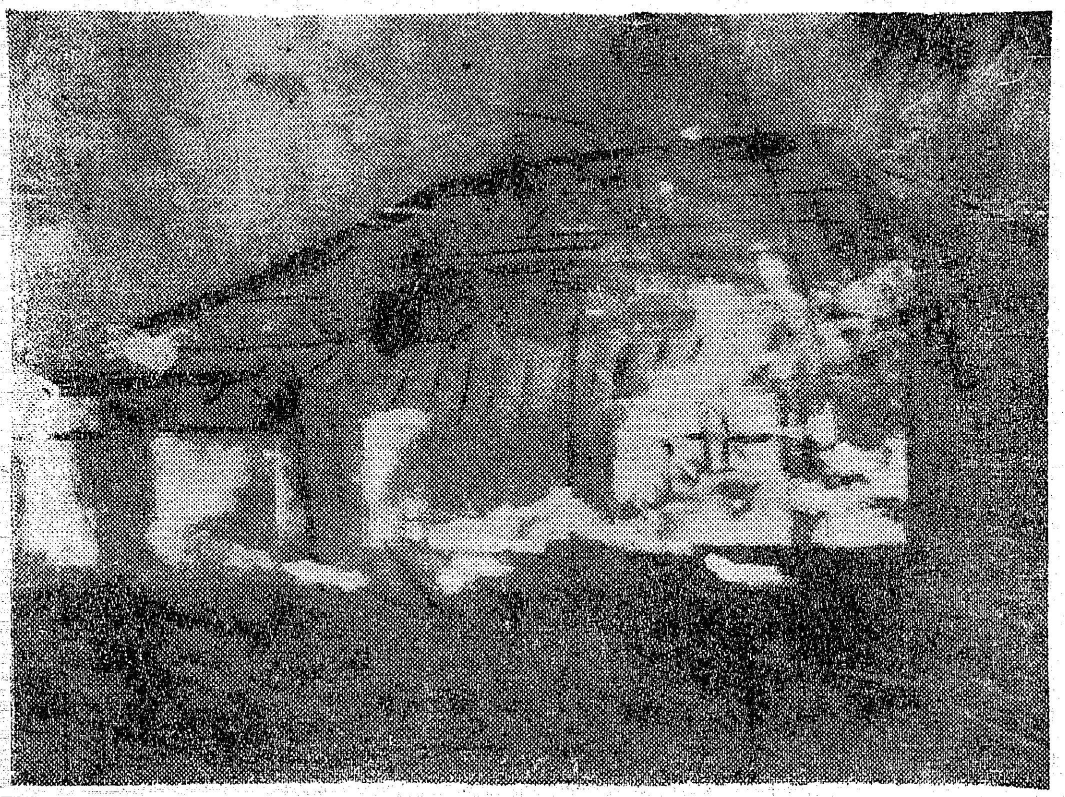
大谷石
[illegible]

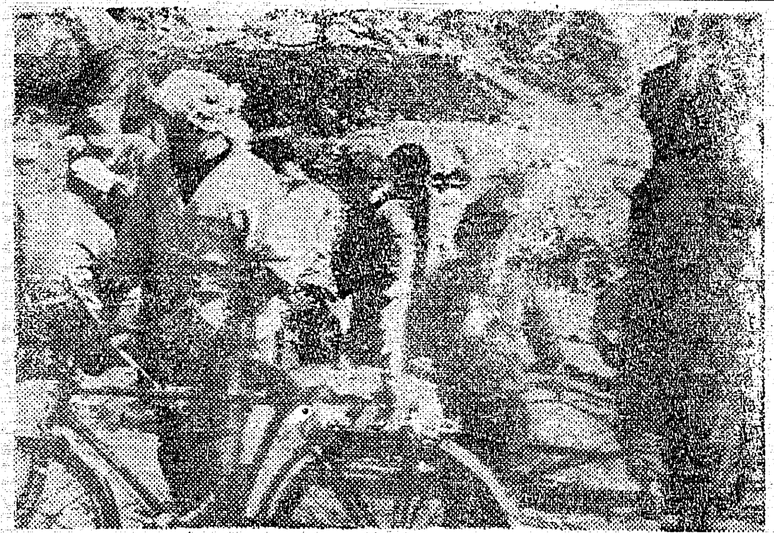
銘菓 七段最中
[illegible]

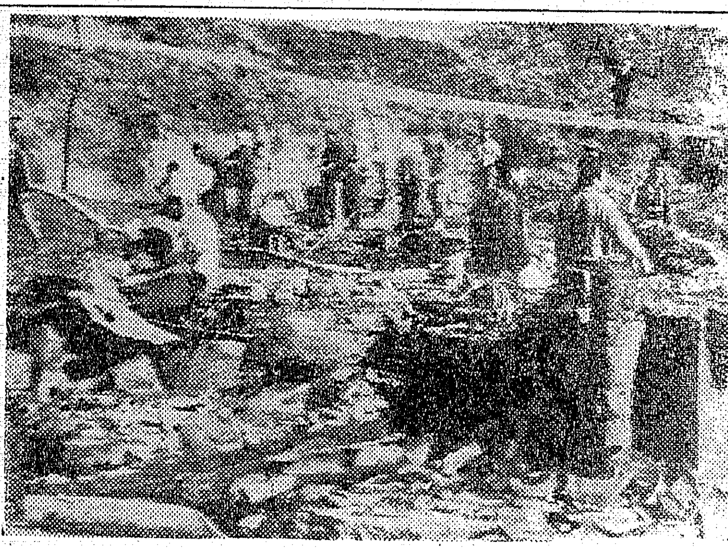
凄じかつた火の包囲

焼け残つた佐藤さん語る

[illegible]







写真説明

【上右】燃え続ける大久村小久の農家
【上左】部落総出でやけ跡の片付け
【左】炊き出しにいそがしい農家の主婦たち

惨状の現地をみる

四倉町など四つの町村は一瞬〝恐怖のマチ〟と化してしまつた。今から十七、八年前の第二次世界大戦の空襲そのものの混乱ぶりである。ひはまる十五時間燃えつづけ、自衛隊や郡内の各消防団員、地元民など三千人の必死の消か作業により、今朝七時すぎやつと一部を残して鎮か状態となつたが、山林などはまだ〝ムツ〟とする熱気が鼻をつき、目にしみてくるほど痛い。

ひは四倉町白岩字金波と双葉郡大久村字箇木原の二カ所から出かした。この日は県下に異状乾燥と、強風注意報が発令されていた矢先で、山林の木々は乾燥に乾燥しきつているだけにひの燃え広がりは容赦しない。暗闇の空は夕焼けのように真赤に色どられて、四町村はいずれも煙でおおわれてしまつた。山林にはヘビの舌のような炎の手があがつて、メリメリバリバリと勢いのよいひ麗の粉が十数米の風にあおられて四散、ひは渦となつて次から次へと松、杉などの大木を焼き払つてしまつた。ひは白岩だけで収まることなく、大久村と久ノ浜町の一部まで飛びしてしまう、一方箇木原からのひの手も収まることなく、亀ケ崎から大久村と延焼、大久村のうちでも小久地区はか災の中心地となり山林はじめ住宅などが焼失してしまつた。ひに包まれている山並みを眺めている町村民の表情は、不安といつてよいのか、何とも文では表現出来ないというのが現地の人達の姿であつた。町村ではサイレンだけが鳴り響くが、実風とものすごいひのため全く手の下しようがなく、応援を要請された各町村の消防団は、強風警戒中であるためか、出足もすぶる悪く、ただ風の止むのを待つばかり。四倉町の白岩地区は道路が狭いため、消防車などは鼻をくつつけて、被災者の救出も思うにまかせなく、どこから手をつけていいか判らないのが実情だつた。

きようも延焼中

川前村四百余名で消火

二十五日午後一時ころ、川前村桶地ケ沢地内の国有林二十八林班の山林から出か、二十六日午[illegible]でに約五十ヘクタールを焼きお延焼中。消かのため近くから消防団員や営林署員など約四百五十人がかけつ[illegible]現場は山が、けわしいため[illegible]つて消か作業はできず、夜[illegible]まつて二十六日本格的な消[illegible]に当つている。原因は平署で調べている。

買収容疑者続々と逮捕

三和村長選違反

平署はさる二十二日行なつた三和村長選挙違反で当選した田子[illegible]三和村合戸農松崎乙丸（六二）と同上市萱農若松善吾（五九）の二人を[illegible]えたが、さらに一十四、五の両[illegible]にわたり三和村合戸字駅二五農[illegible]

最高級紳士服
Silver Sheep SANKYO
10カ月払い
毎月の掛金で楽しいおしゃれ！
サンキョウ

梅は咲いたか 句はまだかいな
藤越
[illegible]

質 山一
[illegible]

祖父渡辺長作儀病気療養中のところ二月二十二日午後五時四十五分七十八才を以つて永眠致しました 茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申し上げます 追而告別式は左記に依り相営みます

日時 三月一日午後二時
場所 常磐市湯本町上町[illegible]

昭和三十八年二月二十六日

常磐市湯本町[illegible]
喪主 渡辺秀夫
施主 渡辺毅
葬儀委員長 [illegible]
葬儀副委員長 川和徳一
〃 吉田恭平
親戚総代 荻野右吉
〃 中野二男
〃 村岡千代松
友人総代 強口唯七郎
[illegible]

当会[illegible]渡辺長作殿には[illegible]二月二十二日午後五時四十五分永眠されました 茲に生前の御厚誼を感謝し謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

水鉄協和会 会長 滝田伝吉

[illegible]渡辺長作殿には[illegible]永眠されました[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

水戸市[illegible]
東鉄工業株式会社 取締役社長 滝田伝吉

[illegible]渡辺長作殿には[illegible]永眠されました[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

福島県建設業協会石城支部 [illegible] 川和徳一

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

福島県建設業協会 [illegible]

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

福島県交通安全協会常磐支部 [illegible]

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

湯本信用組合 組合長 松本久吉

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

常磐商工会議所 [illegible]

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

常磐市長 磯野清治

[illegible]謹んで御通知申し上げます

昭和三十八年二月二十六日

常磐市湯本町[illegible]
株式会社渡辺組

助役級の異動発表

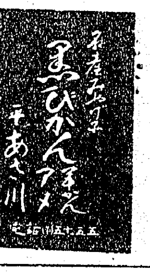
23日づき水鉄管内で

水鉄管理局では二十三日管内の人事異動を発令した、石城関係は次のとおり。（カツコ内は旧任地）▼湯本駅助役（湯本駅運転掛）関安正▼同運転掛（川東駅予備助役）小林英夫▼内郷駅助役（平駅同）国井忠一▼平同（同運転掛）鈴木多広▼同運転掛（小木津駅助役）駒木根周平▼四倉駅助役（同駅予備助役）佐藤善次▼同予備助役（羽鳥駅運輸掛兼予助）勝倉実▼平駅助役（貨物）同（内郷駅助役＝貨物＝）和田弘侑▼内郷駅営業掛（同同（泉駅営業掛＝貨物＝）山崎勝彦▼平車掌区助役（勿来駅助役）中野紋次郎▼勿来駅同（上菅谷駅予備助役）市野沢秀雄▼平駅運転掛（特定）＝（平駅助役＝輸送＝）片寄勝雄▼平駅助役（輸送）＝（同運転掛）萩野谷悦男▼同運転掛（植田駅助役）菊地博▼植田駅助役（泉駅予備助役（小木津駅運輸掛兼予助）高木幸造▼富岡配給所主在（平駅営業掛＝小荷物＝）八巻昇▼平駅営業掛＝小荷物＝（平駅小荷物掛）中山広茂▼水戸鉄道公安室主任（平公安室主任）久野勇▼平同（同班長兼主任）河田公▼竜田駅予備助役（赤井駅運輸兼予助）中根秀雄▼赤井駅運輸掛兼予備助役（夜ノ森同）桐生良明▼下館保線区線路分区長同＝茂木＝（平保線区工事士）佐藤欣司▼施設部工事課第三設計係長（平保線区助役）鈴木裕▼水郡線管理所線路分区長（平保線区工事士）三浦章▼平保線区助役（施設部工事課）町田旭▼施設監査員＝平＝（施設部保線課）大内真▼平保線区線路分区長＝平＝（富岡保線路分区長（太田行▼水戸建築区建築分区長＝日立＝（平保線区営繕士）後藤臨司▼運転部機関車課検修係長（平機関区助役）渡辺佐太郎▼平機関区助役（運転部機関車課）山本松四郎▼水戸機関区助役（平機関区機関士）新妻政雄▼運転部機関車課指導係長（平機関区助役）川又蔵水▼平機関区助役（水戸同）宇留野義勇▼平機関区助役（原ノ町同）渡辺賢正▼原ノ町同（平同）木下秋夫▼平同（平機関区高萩支区助役）小井戸雅司▼水戸同（平機関区助役）鹿志村福三▼平同（水戸機関区機関士）磯崎平一▼平客貨車区助役（運転部客貨車課客貨車係長）熊谷英雄▼平客貨車区原ノ町支区客貨車検査掛助やく（平客貨車区客貨車検査掛）高木久徳▼運転部客貨車課＝課員一級＝（平客貨車区客貨車検査掛兼助やく）鈴木英雄▼助やく兼務（平同）武子嘉道

電子血圧測定器を購入

内郷市で

内郷市保険衛生課は三十八年度予算で電子血圧測定器一台を購入する。ただ腕に当てると血圧数がわかる便利なもので、これまでのように腕にゴムをまきつけ、空気を入れ圧迫しないでもいい。



餌つきはマアマア

きのう丹後沢で臨時釣開き

夏井川漁業協同組合は平市丹後沢の釣り堀り臨時開きは二十四日午前九時から行なつた。約百人の釣り師たちがつめかけ、釣り糸をたれていたが、寒いうえ水が冷たいためか魚の動きもにぶく、餌付きはマアマアといつたところ。それでも、四、五寸のフナを釣り上げる人もいたが、他にはコイ、フナ、レン魚などが放魚されている。丹後沢は公園化されるので釣りとは別に家族や子供連れでも気軽に楽しめるので、暖かくなれば連日賑わうだろうと係は語つていた。なおこの日の遊漁券は三月二十一日の開場式でも特別優待券として有効となつている。

（写真は丹後沢の釣り堀開き）

生活文

お父さん

夏井小　四年　山崎　宏

「家の人の中でだれでも良いから選んでその人の事を書きなさい」といわれたら、やつぱり僕はお父さんの事だ。目がぎよろぎよろ大きくて、耳が大きくて、口がわりあい小さい顔。僕が何もしないのにおこつているような顔が、ぐんと目の前にあらわれる。はなの下にはお母さんにいつも「ひげをそりなさい」といわれても大事にしているひげがある。ひげっていいのかな。茶色の上着にぐんじようのずぼんはいつもおんなじだ。

夕方、僕が机に向つて勉強していると、お父さんがさといもをいつぱいとつてきた。顔にどろがいつぱい、手足もどろだらけかわいそうになつて「父ちゃんいもの皮むきしてやつか」といつたら「かまわねえ、我にできたら父ちゃん金持ちになつちまうわ」と土だらけの顔で笑つた父ちゃんがいなければ、家の仕事は田も畑もみな止まつてしまう。家の中のモーターのようなものだ。怒る事はそんなにないが、たまにおこす短気はものすごい。

この間の夜、テレビを見てくるとお父さんがごはんを食べていた。僕を見つけたお父さんは、「いつまで見ている」としかりはじめた。まるではんにゃか面が歯をむき出したような顔なので、すぐあやまつてしまつた。それからというものは、あまりおそくまでテレビを見ないようにしている。

今年の夏休みにお父さんは、水戸へ旅行に行つた。出発する前の晩、お父さんがかばんを出したりしているので、「お父さんも旅行へ行くのはうれしいんだろう」とみんなに笑われた。三日泊つて帰つてきた。さつそくおみやげは何かなと、かばんを開けたなら、ようかんと手ぬぐいしか入つていなかつた。お父さんは「つかれたので汽車に乗つてねていたんだよ」とごまかしてしまつた。

酒もたばこも好きだ。仕事をやつたあとで「酒を買つてこい」といわれると、僕は暗くなつてもすぐにかけ出して行く。僕にはやさしいお父さんだけど酒をのむのが困る。「十円ちようだい」というとにこにこしながら「あるかな、ないかな」とポケットを動かして、渡してくれる。お父さんの心が僕にはいつぱいわかるようだ。お父さんが酒をのんで夜帰つても、お母さんはおこらない。家一番の働き者だから…。

NHK第1【今晩】ラジオ福島

- 6.05 劇「雪の上の七つの太陽」
- 31 1丁目1番地
- 7.20 時の人　時の話題
- 30 話の泉
- 8.01 あつぱれ三人組
- 30 民謡をたずねて
- 9.10 ニュース解説
- 25 芸能ホール
- 10.00 きようのニュース
- 45 ふるさとさん今晩は
- 11.05 夜のリズム
- 35 海外便り

- 6.00 少年講談
- 20 アツちゃん
- 7.15 お笑い千両箱
- 30 そのうそホント
- 8.00 三橋美智也ショー
- 30 ヤングミュージックショー
- 9.00 ヒットパレード
- 45 この道を行けば
- 10.10 私本太平記
- 30 憩いのリズム
- 11.05 放送劇「女ひとり」
- 20 ミツドナイトコンサート

【明朝】

- 5.05 村のこだま
- 30 あの雲こえて
- 6.40 人生と能力
- 50 私たちの言葉
- 7.15 県民の時間
- 45 朝の訪問
- 8.05 朝の名曲
- 31 小説「ドライママ」
- 9.05 うたのおじさん
- 31 やさしい造花

- 6.05 農家の手帳
- 45 田園ソング
- 7.15 パパいつてらつしやい
- 45 歌のない歌謡曲
- 8.05 おはようDダツクス
- 35 青空大将
- 9.00 君の名は
- 40 私はビブラフォン

NHK【今晩】テレビ

- 6.00 僕も私も名探偵「小さな町の大展覧会」
- 30 みんなのうた
- 35 眉月の誓い　花ノ本寿　稲吉靖
- 7.15 バス通り裏　小栗一也　織賀邦江
- 30 ジエスチヤー　水の江滝子　柳家金語楼　実川延吉
- 8.00 歌は生きている「異国の丘」　吉田正　竹山逸郎　樋口克巳他
- 8.30 お笑い三人組「引越し作戦」　猫八　貞鳳　小金馬
- 9.00 事件記者「鼠穴」（後）　永井智雄　園井啓介　原保美他
- 30 きようのニュース
- 10.00 ニュースの焦点　村田為五郎
- 15 生活の知恵「英語」
- 45 時の表情
- 11.05 海外ニュース
- 15 星のセレナード

映画　今週の番組

（平市）

◉世界館　二十六日迄　電二〇五八
七、〇三　禁断
八、二八　しとやかな獣

◉ひかり座　四日迄　電[illegible]
六、二五　世界のセクシーナイト
七、五五　アパッチ砦

◉聚楽館　三月四日迄　電[illegible]
六、〇〇　気球船探検
八、〇〇　南太平洋

◉東映劇場　二十六日迄　電[illegible]
五、五一　秘剣揚羽の蝶
七、二六　壮烈鬼隊長
八、三八　利根の朝焼け

◉民劇　三月二日迄　電[illegible]
休館

◉平館　二十六日迄　電[illegible]
六、二〇　大相撲初場所
七、〇五　都会の奔流
八、三〇　さすらいのトランペット

◉平松竹　二十六日迄　電[illegible]
六、二八　七人の刑事
八、〇七　無宿人別帳

◉三夜東映　二十六日迄　電[illegible]
六、五〇　競艶お役者変化
七、三八　狙い射ちの無頼漢
八、二六　血煙り笠

◉ニュー国際　二十六日迄　電[illegible]
七、一〇　キートンの裸女学生
七、四二　爆笑脱線娘
八、四六　全国民謡歌合戦

【常磐市】

◉湯本座　二十六日迄
魔法の水車タンボ
太平洋の鷲
暗黒街の牙

◉三函座　二十六日迄
新撰組始末記
やくざの勲章

◉常磐日活　二十六日迄
若い旋風
零戦黒雲一家
鉛をぶちこめ

◉常磐座　二十六日迄
指紋は生きている
カレーライス
花笠道中

テレビ　ラジオ

「26日」テレビ　抑留生活にまつわる歌

◆歌は生きている（後8）「異国の丘」

極寒の地シベリアで苦しい抑留生活を体験した人々をゲストに招き、当時の話をききながらその話にまつわる歌を集める。出演・歌・竹山逸郎、伊藤久男、赤木靖恵、合唱・ルナ・アルモニコ、藤原歌劇団合唱部。ゲストは吉田正、それにシベリアに抑留生活を送つた樋口克己さんと父をシベリアに失つた杉山明子さん。

曲目は❶「異国の丘」（竹山）❷「カチユーシヤの歌」（アルモニコ）❸「トロイカ」（アルモニコ）❹「シベリヤエレジー」（伊藤）❺「ハバロスク小唄」（藤原歌劇団合唱部）❻「早春賦」（赤木）❼「異国の丘」（竹山・藤原歌劇団合唱部）

英語を身につけたい人に

◆生活の知恵（後10・15）「英語」

東京オリンピックを来年にひかえて、インスタントに英語をおぼえようと、英会話入門書、レコードなどがかなりの売れ行きを示しているとのことだ。この番組では、オリンピックを機会に英語を身につけたいと思つている人を対象に、

○短期間に日本語をマスターした米人家族

○中学程度の英語がどの程度身についているかのテストなどを例に「あなたは今すぐにでも英語が話せるはずである」ことを理解してもらう。

出席　早稲田大学教授　五十嵐新次郎　作家　安岡章太郎　朝日新聞元特派員　辻豊　など。

教育テレビ　日本の病院の水準を考える

◆教養特集（後8）「日本の水準」

日本人は、一年間に平均して一人二回の割合で、病気にかかつたり、怪我をしたりしている（厚生省調べ）。病院は、ふだんは縁がうすいようでも、実は、この数字でもわかるように身近かな存在である。病院をめぐる問題は、複雑そのものといつてもよく、また広範なものであるが、きようは病院を医師、看護婦と患者との結びつきの場としてとらえ、様々な問題のうちから、特に、もしわれわれが患者として入院した場合に、近年目覚しい発達を遂げている近代医療の恩恵を充分に受けることができるだろうかという点に焦点をおいて日本の病院の水準を考えてゆく。

（写真は岡倉天心を語る面々）

ラジオ　踊り唄を集めて送る

◆民謡をたずねて（❶後8・30）「踊り唄さまざま」

今週は、わが国に数多く伝わつている踊りうたのいくつかを編め、成田収玉、伊藤一子、小松みどり、三浦節子ほかのうたで放送する。

❶「秩父音頭」（成田収玉）❷「大漁節」（三浦節子）❸「秋田音頭」（佐藤天雄）❹「秋田甚句」（小松みどり）❺「花笠踊」（伊藤一子）❻「一合まいた」（上村天堂）❼「尾鷲節」（中山天秋）❽「伊勢音頭」（渡部馥子）

デイキシーランドジャズ

◆夜のリズム（❶後11・05）「デイキシーランド・ジャンボリー」

黒人の土俗的なジャズに、都会の洗練された味をとり入れたデイキシーランド・ジャズ。この時間は、日本でのデイキシーランド・ジャズ・シンガーの第一人者水島早苗、アメリカのポピラーシンガー、ビリー・バンクス、小割まさ江さんの出演で、久しぶりにデイキシーランド・ジャズを紹介する。

出演　歌・水島早苗、ビリー・バンクス、小割まさ江、演奏・園田憲一とデイキシー・キングス、永田清編トリオ。

❶「シカゴ」（小割）❷「セント・ルイス・ブルース」（バンクス）❸「アイ・ドント・ウオント・ユー・クライ」（水島）❹「ヤマヤマ・マン」（演奏）❺「フランキー・アンド・ジヨニー」（小割）

岡倉天心の業績を語る

◆歴史よもやま話（❷後❽）「岡倉天心」

座談会出席者　美術評論家　嘉門安雄　アジア・アフリカ研究所長　岡倉古志郎（天心の孫）　評論家　河上徹太郎　司会　池島信平

明治の文化史に巨大な足跡を残した岡倉天心の人と業績を語る座談会。

越前福井藩士岡倉勘右衛門の次男として幕末に開港場横浜に生れた、心は、幼時から英語を学び、青年期に米人アーネスト・フェノロサと協力して、日本の伝統美術に近代の息吹きを吹きこんだ。一八九〇年美術学校の校長となつたが、反岡倉派に追われ、横山大観らとはかつて日本美術院を開いた。

毛糸の宝石
東洋紡のダイヤモンド毛糸
ハシモトヤ糸店
平市銀座TEL4315－6

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前 電3343

新らしい部屋造りなら
丸一材木店へ
新建築材なんでも揃う

ステレオのパイオニア
―本格的な良い音を格安に！―
代理店 平市2丁目 フルヤマ

厚生省許可
開花亭の強化食パン
ブドーパン
平市5丁目 電2342 6342

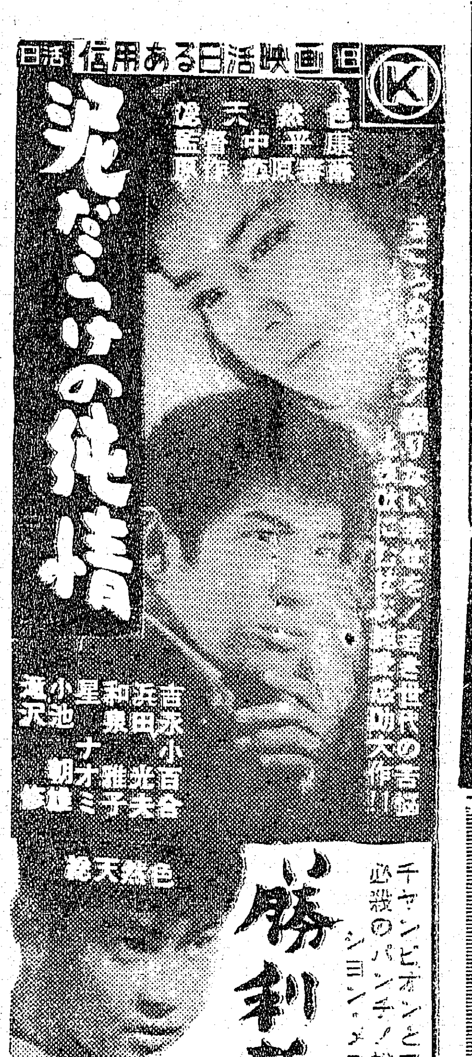
ポンプと水道工事
平市堂の前 電五四〇〇
山崎

素晴らしいデザイン
時計　貴金属　眼鏡
（技術者見習若干名急募）
常盤屋時計店
平市一丁目TEL2339

星屑の町
故郷の山よ！初恋の人よ・三橋美智也の哀愁ロマン！
監督 的井邦雄
三橋美智也　倍賞千恵子　山本豊三　宗方勝己　伴淳三郎
彼女に向って突進せよ
監督 市村泰一
総天然色
青春三羽ガラスの恋愛競争!!
吉田輝雄　松原浩二　寺島達夫　鰐淵晴子　笠智衆　藤間紫　乙羽信子　園井啓介
27日封切　平松竹

黒の報告書
情事をあばけ！偽証をくずせ！出世コースを賭けた若い検事と弁護士のスパイ合戦血みどろの決め手を秘めた逆転又逆転の報告書は？
宇津井健　叶順子　高松英郎　近藤美恵子　弓恵子　小沢栄太郎　上田吉二郎　殿山泰司　見明凡太郎　潮万太郎
監督 増村保造
秘伝月影抄
斬つたか斬られたか！一剣に恋と生命をかけた剣豪と剣聖、五味康祐評判の映画化！
勝新太郎　市川雷蔵
牝犬
妖しい体臭に群る男、男、男！誰が名づけたかその名は牝犬！
脚本 監督 木村恵吾
京マチ子　久我美子　志村喬　加東大介　北林谷栄
未成年者入場お断わり致します
明27ヨリ 6日マデ　世界館

東映
大川橋蔵主演　総天然色
いれずみ半太郎
ドス一本に恋賭けて、男意気地の[illegible]
監督 マキノ雅弘　原作 長谷川伸
日本映画界NO1好評シリーズ第20弾！！
警視庁物語　ウラ付け捜査
泥沼のような証拠捜しに苦斗する七人の刑事！！
27日封切東映



信用ある日活映画
総天然色
泥だらけの純情
監督 中平康
吉永小百合　浜田光夫　和泉雅子　星ナオミ　小池朝雄　滝沢修
総天然色
勝利者
チャンピオンと恋を賭けた必殺のパンチ！裕次郎アクション・メロドラマ！！
石原裕次郎　北原三枝　南田洋子　三橋達也
27日封切平館

内科外科
金成医院
平市鎌田町 電二八二六番

世界の味！
皆様の健康には
スタミナのつく
盧山の中国料理を
中国食店 盧山
平市平和通り 電3321

うちわ カレンダー 広告マッチ
嘉見家
平市大町 電五四六九

電気アイロンとスタンド
三幸デパート
平市三丁目 電四九三二

発売
一級濃度（原酒）
曙春
末広酒店
平市南町電2590番

ひな人形
人形は伝統をもつて
お応する専門の森下です
舞踊人形……330円より
十五人揃……3000円より
木目込……2800円より
特設売場（丸紅跡）にて陳列中
玩具と人形
森下玩具店
平市一丁目 TEL2602